

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・  
指定都市名

滋賀県

地域名

彦根市

人権課題

女性 高齢者 障害者 同和問題 アイヌの人々 外国人 ハンセン病患者等  
インターネットによる人権侵害 性的指向、性自認

各組織の動き・役割等

人権教育総合推進会議→指導計画の整備

滋賀県教育委員会

彦根市教育委員会

彦根市人権教育推進協議会

彦根市地域婦人団体  
連絡協議会

彦根市PTA連絡協議会

滋賀県人権教育彦根研究会

部落解放同盟彦根支部

彦根市社会教育委員会議

子どもを語る会・授業研究会→実践報告書の作成・配布

ブロック人権教育推進会議

→ブロックごとに小中9年間の体系的な教育についての協議

地域ネット事業研究指定ブロック（1校区）

鳥居本中学校区 指導計画に則り、人権課題ハンセン病患者等について、講師を招いた講演会を通して理解を深めた。

地域ネット事業ブロック（6校区）

東中学校区  
西中学校区  
中央中学校区  
南中学校区  
彦根中学校区  
稲枝中学校区

各校区の指導計画に則り、人権課題の女性、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、ハンセン病患者等、インターネットによる人権侵害、性的指向、性自認について、道徳や学級活動、総合的な学習の時間を利用して学習をした。特に、性的指向、性自認については、彦根市教育委員会が作成した指導資料をもとに、各学校・園で取り組み、理解を深めた。

校種間連携の  
概要

・中学校区の小・中学校の連携のために各校・園の人権教育推進主任を中心としたブロック人権教育推進会議を開催し、人権課題について小・中学校9年間の体系的な教育を見通した協議を行った。結果、小・中学校ともに性的指向、性自認についての効果的な学習を検証し、系統的な学習の推進を図る。

地域との連携  
の概要

・人権教育推進協議会、PTA連絡協議会、滋賀県人権教育彦根研究会、部落解放同盟彦根支部及び教育委員会等で構成された人権教育総合推進会議において、9年間を見通した指導計画の整備を行った。